

卒業式あいさつ（中学校）文例

厳しかった冬も去り、木々の芽吹きも感じられる今日の佳き日に、本校を巣立ちゆく卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。（間）三年間という長いようで短かった月日を振り返ると、楽しかった事、辛かった事、その一コマ一コマが今、走馬灯のごとく思い浮かんできていると思います。

これから高校へ、実社会へと巣立っていく皆さんに対し、私たちは応援を惜しむことはありません。しかし、それより自分の将来は自分でつかむものという気構えを忘れないでいてほしいと思います。

思春期の多感な時、目に見えるものや聞こえるものに心動かされ、遊びに夢中になる時期でもあります。表面的なもの、一時的な楽しみに流されないためには夢や希望を持つことです。それはたとえ小さなものでもよいのです。

中学校時代に別れを告げる今、自分の進むべき道を見つめるちょうどよい時期であると思います。希望を持つわけではありませんか。夢を見ようではありませんか。社会情勢、経済状況が混沌とした日本を考えると、安閑としてられません。

このような世情の中で自分の明るい未来とはどういうものか広い視野に立って考え、目標に向かって進んでもらいたいと思います。望み叶わぬ時でも、たとえ挫折感を味わおうとも、皆さんには若さがあります。チャレンジ精神で何回でも目標に立ち向かい、困難に打ち克って希望を捨てずに歩んでくれることを心から願っております。親として、またこの学校を卒業した一先輩として切に望むところであります。

校長先生はじめ諸先生方には、思春期の多感な子どもたちをご指導いただきましたことに心より感謝申し上げます。

以前、夜遅くまでご苦労されている様子を垣間見、中学校の大変さを感じた次第であります。厚く御礼申し上げますとともに今後とも〇〇中学校の一層の充実と、ご発展を心からお祈り申し上げます。

保護者のご家族の皆さん、お子さんのご卒業を心からお祝い申し上げます。三年間、心身両面で支えると同時に、この時期の子どもの育て方の難しさに悩みご心配の毎日であったこととご推察いたします。

これからは、子どもたちが自分自身で一步を踏み出していくことと思います。それぞれの進む道を共に見守り、励まして下さる事をお願いいたします。

終わりにになりましたが、ご来賓の皆様におかれましては、これまで卒業生のために多方面にわたりお力添えを賜りました。誠にありがとうございます。PTAを代表しまして、皆様に心からお礼を申し上げ、祝辞といたします。

本日は、誠におめでとうございます。